

2018司法試験受験生応援！  
辰巳司法試験全国公開模試等開講特別企画

## 平成30年主要考査委員紹介&出題予想【行政法】

北村和生 立命館大学大学院法務研究科教授

【所属大学教員紹介HP】

<http://research-db.ritsumeai.ac.jp/Profiles/36/0003531/profile.html>

北村和生教授（以下「北村教授」といいます。）が平成30年司法試験及び予備試験考査委員（行政法・出題委員）に任命されました。

上記教員紹介HPでは、研究テーマとして「国家賠償と行政統制」を挙げられ、研究概要として「国家賠償の持つ行政統制機能に着目し、国家補償制度全体の中で、国家賠償、特にその要件が、いかなる位置にあるか、又はあるべきか、の検討。」と記載されています。国家賠償に関しては、平成18年の第1回目の新司法試験に出題された後、論文式試験においては正面からの出題がありません。しかし、重要判例がいくつもあることから、そろそろ出題される可能性があるものと予想されます。なお、行政裁量権の逸脱又は濫用と公務員の国家賠償法上の違法及び過失が問題になった裁判例に対する北村教授の近時の判例批評として、大阪高判平27.10.13（判時2296-30，下記裁判所HP裁判例情報参照）に関する判例評論（判時2317号P.156～162）があり、本試験での素材となり得る裁判例として注目されます。

また、北村教授は、司法試験受験生の多くが使用している曾和俊文・野呂充・北村和生編著『事例研究 行政法』（日本評論社，第3版，2016）の編著者の1人です。この『事例研究 行政法』は、その初版が刊行された後、司法試験論文の行政法における受験生のレベルが上がったと言われるほど、司法試験対策として有益な問題集といえます。司法試験の直前期で時間がない場合には、同書の「第1部 行政法の基本課題」（P.1～130）を検討するだけでも、行政法の主要テーマを押さえることができます。特に、同書第1部は、司法試験の論文で最もよく出題される個別法の仕組み解釈、処分性、原告適格、行政裁量に関しまして、「ミニ講義1 規制法律の読み方」、「ミニ講義2 処分性要件の役割とその判断の方法」、「ミニ講義3 取消訴訟の原告適格」、「ミニ講義4 行政裁量と司法審査の方法」という項目で丁寧に解説しており、司法試験対策としても極めて有益です。

### 【参 考】

- ・大阪高判平27.10.13（裁判所HP裁判例情報参照）  
[http://www.courts.go.jp/app/hanrei\\_jp/detail6?id=85731](http://www.courts.go.jp/app/hanrei_jp/detail6?id=85731)
- ・曾和俊文・野呂充・北村和生編著『事例研究 行政法』（日本評論社，第3版，2016）（日本評論社HP）  
<https://www.nippyo.co.jp/shop/book/7293.html>

原案作成：辰巳法律研究所教材チーム（スタ論・全国公開模試等担当）

監 修：辰巳専任講師・弁護士 福田俊彦 先生